

むし歯予防プログラムとは？

患者さんの持つ“むし歯のなりやすさ”と“むし歯のなりにくさ”を診断し、患者さん1人1人にあったむし歯予防プログラムを提供します。あなたの矯正歯科担当医とともに、むし歯外来の専門医・歯科衛生士が協力して、最先端の技術・知識を駆使してむし歯予防に取り組みます。



対象年齢 未成年



対象期間 矯正歯科治療中



費用 初診時費用 **108,000円（税込）**（検査料 + 再評価費用）

※ただし、定期的なクリーニングやフッ化物塗布などの費用は別途いただきます

内容

プログラム実施前

むし歯検査（レントゲン撮影含む）とむし歯リスク（なりやすさ）評価
むし歯リスクに応じたプログラム立案

プログラム実施中

定期的なチェックやフッ化物塗布、むし歯リスクの再評価
必要に応じたレントゲン検査
口腔衛生指導（むし歯予防ガムやフッ化物入り歯磨剤の指導）
必要に応じたシーラント処置

※歯磨剤などホームケアで必要な物は別途購入いただきます
※臨床研究にご協力をお願いすることがあります

むし歯になることなく矯正歯科治療を完了



むし歯外来のコンセプトとは…

当大学における最先端の研究をもとに、

MID(Minimal Intervention Dentistry 最小限の侵襲に基いた歯科)に取り組んでおります。

※FDI(国際歯科連盟)にて提唱されている概念

MIDの考え方は、むし歯のリスクを評価することで、むし歯の発生および進行を制御し、リコール間隔をテラーメイドで提案できることや、初期むし歯を再石灰化させるための砂糖摂取量の制限やフッ化物配合歯磨剤の使用などが挙げられます。

また治療介入が必要な際にも、“むし歯になった歯質のみ”を取り除くことで、低侵襲で患者さんにとっても、歯にとっても非常にやさしい治療が実現可能となっています。それが生涯を通じて自分の歯を長持ちさせられる方法なのです。



プログラムの流れ

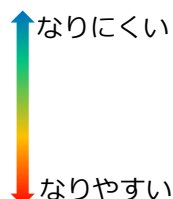
①カリスクリーン等を用いた検査



Cari Screen™



②むし歯リスク（なりやすさ）を評価



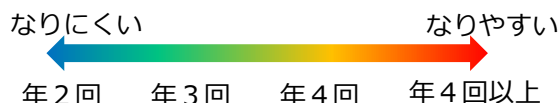
③予防プログラムの立案



④必要に応じた口腔内衛生指導やシーラント処置



⑤むし歯リスク毎にメンテナンス期間を設定



Q&A

Q1.必ずむし歯にならないようになりますか？

A.確実に予防できるものではありませんが、リスクを軽減させることが目的です。

Q2.リスクがかなり高い場合、矯正歯科治療はできますか？

A.担当歯科医師と担当歯科衛生士とともにリスクを下げるように取り組みましょう。リスクが下がれば矯正歯科治療を行えます。

Q3.費用はいつ必要になりますか？また他にかかる費用はありますか？

A.検査を行う段階で初診時費用が必要になり、その後はプロフェッショナルケアを行う毎に別途費用がかかります。その他にかかるのは歯磨剤など購入費用や、むし歯になってしまった際の治療費などです。

歯面研磨 1/3顎単位 648円

フッ化物塗布等 1口腔単位 2,592円

シーラント（1歯） 3,240円

機械的歯面清掃 1口腔単位（口腔衛生指導含む） 6,480円

家庭管理料（フッ化物洗口剤処方） 2,592円

シーラント（全顎） 32,400円

Q4. 期間やリスク（メンテナンス頻度）が違ってても費用は一緒ですか？

A. プログラム中、リスクの高さによってメインテナンスの頻度が異なりますので、費用も異なります。

Q5.途中でプログラムを辞めることはできますか？

A. 可能です。ただし費用の払い戻しには応じかねます。

